

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場会社名 国際石油開発帝石株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1605 URL <http://www.inpex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村 俊昭
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRユニット (氏名) 細野 宗宏 (TEL) 03-5572-0233
 ジェネラルマネージャー
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	389,657	△31.3	138,072	△44.1	132,180	△48.9	15,727	△65.4
28年3月期第2四半期	567,013	△14.5	246,787	△28.8	258,847	△29.8	45,485	△48.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △169,535百万円(-%) 28年3月期第2四半期 △18,603百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	10.77	—
28年3月期第2四半期	31.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,030,584	3,000,954	68.3
28年3月期	4,369,841	3,178,803	67.1

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 2,753,733百万円 28年3月期 2,932,892百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
29年3月期	—	9.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。甲種株式(非上場)の配当の状況については、別紙の「甲種株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	830,000	△17.8	283,000	△27.5	284,000	△24.2	26,000	55.0	17.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2.(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	1,462,323,600株	28年3月期	1,462,323,600株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,966,500株	28年3月期	1,966,400株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	1,460,357,186株	28年3月期2Q	1,460,357,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施されております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料4ページを参照してください。

(甲種類株式の配当の状況)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	3,600.00	—	3,600.00	7,200.00
29年3月期	—	3,600.00			
29年3月期(予想)			—	3,600.00	7,200.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13
(重要な後発事象)	14
4. 参考情報	15
(1) 生産、受注及び販売の状況	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は油価及びガス価が下落したことにより、売上高は、前年同期比1,773億円、31.3%減の3,896億円となりました。このうち原油売上高は前年同期比1,210億円、30.5%減の2,758億円、天然ガス売上高は前年同期比552億円、33.9%減の1,080億円となりました。当第2四半期連結累計期間の販売数量は、原油が前年同期比2,164千バレル、3.7%増の59,970千バレルとなりました。天然ガスは、前年同期比5,204百万立方フィート、3.2%増の165,837百万立方フィートとなりました。このうち、海外天然ガスは、前年同期比4,406百万立方フィート、3.3%増の136,314百万立方フィートとなり、国内天然ガスは、前年同期比21百万立方メートル、2.8%増の791百万立方メートル、立方フィート換算では29,523百万立方フィートとなっております。販売価格は、海外原油売上の平均価格が1バレル当たり43.08米ドルとなり、前年同期比13.44米ドル、23.8%の下落となりました。海外天然ガス売上の平均価格は千立方フィート当たり4.83米ドルとなり、前年同期比2.40米ドル、33.2%の下落となりました。また、国内天然ガスの平均価格は立方メートル当たり43円88銭となり、前年同期比10円84銭、19.8%の下落となっております。売上高の平均為替レートは1米ドル106円48銭となり、前年同期比14円85銭、12.2%の円高となりました。

売上高の減少額1,773億円を要因別に分析しますと、原油及び天然ガスの売上高に関し、販売数量の増加により196億円の増収、平均単価の下落により1,475億円の減収、売上の平均為替レートが円高となったことにより484億円の減収、その他の売上高が10億円の減収となりました。

一方、売上原価は、主に為替が円高に推移したことにより、前年同期比634億円、23.2%減の2,101億円、探鉱費は主に国内での探鉱活動が減少したことにより、前年同期比16億円、39.8%減の24億円、販売費及び一般管理費は前年同期比35億円、8.4%減の389億円となりました。以上の結果、営業利益は前年同期比1,087億円、44.1%減の1,380億円となりました。

営業外収益は、有価証券売却益が減少したこと等により、前年同期比234億円、58.7%減の164億円となりました。営業外費用は為替差損が増加したものの、生産物回収勘定引当金繰入額が減少したこと等により、前年同期比54億円、19.7%減の223億円となりました。この結果、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は前年同期比1,266億円、48.9%減の1,321億円となりました。

法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額の合計額は前年同期比1,120億円、51.0%減の1,074億円となり、四半期純利益は前年同期比146億円、37.1%減の247億円となりました。非支配株主に帰属する四半期純利益は89億円となり、以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比297億円、65.4%減の157億円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①日本

販売数量は増加したものの、油価・ガス価の下落により、売上高は前年同期比85億円、16.6%減の426億円となりましたが、探鉱費の減少等により、営業利益は前年同期比40億円増の60億円となりました。

②アジア・オセアニア

油価・ガス価の下落及び為替が円高に推移したことにより、売上高は前年同期比648億円、38.7%減の1,027億円となり、営業利益は前年同期比440億円、71.5%減の175億円となりました。

③ユーラシア(欧州・NIS諸国)

販売数量は増加したものの、油価の下落及び為替が円高に推移したことにより、売上高は前年同期比104億円、25.4%減の306億円となり、営業利益は前年同期比67億円、55.4%減の54億円となりました。

④中東・アフリカ

販売数量は増加したものの、油価の下落及び為替が円高に推移したことにより、売上高は前年同期

比913億円、30.4%減の2,090億円となり、営業利益は前年同期比611億円、34.0%減の1,187億円となりました。

⑤米州

販売数量は増加したものの、油価・ガス価の下落及び為替が円高に推移したことにより、売上高は前年同期比22億円、32.6%減の45億円となり、営業損失は前年同期比15億円、41.5%増の53億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4兆305億円となり、前連結会計年度末の4兆3,698億円と比較して、3,392億円の減少となりました。流動資産は9,333億円で、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末と比較して510億円の減少となりました。固定資産は3兆972億円で、投資その他の資産の減少等により前連結会計年度末と比較して2,882億円の減少となりました。

一方、負債は1兆296億円となり、前連結会計年度末の1兆1,910億円と比較して1,614億円の減少となりました。このうち流動負債は2,620億円で、前連結会計年度末比571億円の減少、固定負債は7,676億円で、前連結会計年度末比1,042億円の減少となりました。

純資産は3兆9億円となり、前連結会計年度末比1,778億円の減少となりました。このうち、株主資本は2兆5,395億円で、前連結会計年度末比25億円の増加となりました。その他の包括利益累計額は2,141億円で、前連結会計年度末比1,817億円の減少、非支配株主持分は2,472億円で、前連結会計年度末比13億円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首の538億円から当第2四半期中に増加した資金86億円を加えた625億円となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比189億円増の1,166億円となりました。これは主に、油価及びガス価の下落により税金等調整前四半期純利益が減少したものの、法人税等の支払額や生産物回収勘定（非資本支出）が減少したことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比2,368億円減の762億円となりました。これは主に、権益取得による支出の剥落や長期貸付けによる支出が減少したことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は264億円（前年同期は469億円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出の増加や、非支配株主からの払込みによる収入の減少があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期連結業績予想については、平成29年3月期第2四半期連結累計期間の実績を織り込み、下期の原油価格の前提などを見直した結果、平成28年8月4日に公表の数値から下記のとおり修正を行いました。

通期連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日） （単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	797,000	257,000	251,000	17,000
今回修正予想(B)	830,000	283,000	284,000	26,000
増減額(B-A)	33,000	26,000	33,000	9,000
増減率(%)	4.1	10.1	13.1	52.9

上記見通しは以下の前提により算出しております。

	前回発表予想		今回修正予想	
原油価格 (ブレント)	第1四半期実績	47.0ドル/バレル	上期(実績)	47.0ドル/バレル
	第2四半期以降	45.0ドル/バレル	下期	50.0ドル/バレル
	通期平均	45.5ドル/バレル	通期平均	48.5ドル/バレル
為替 (対米ドル)	第1四半期実績	108.2円/ドル	上期(実績)	105.3円/ドル
	第2四半期以降	105.0円/ドル	下期	105.0円/ドル
	通期平均	105.8円/ドル	通期平均	105.1円/ドル

なお、当社販売の原油価格は油種毎に価格が異なり、ブレントに比べ価格差があります。価格差は油の品質等により異なり、また、市況等により価格差も一定ではありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社の構築物(パイプライン)の耐用年数につきましては、法人税法に規定する方法と同一の基準によっておりましたが、富山ラインの稼働を契機に、「中長期ビジョン」に掲げたガスサプライチェーン強化策の進捗状況や使用実績等を勘案し、経済的使用可能予測期間の検討を行った結果、従来の耐用年数よりも長期に使用可能であることが判明しましたので、第1四半期連結会計期間よりこれらの耐用年数を見直しております。

この変更に伴い、従来の耐用年数によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,224百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	772,528	749,672
受取手形及び売掛金	56,462	57,493
たな卸資産	35,915	30,985
その他	132,515	106,441
貸倒引当金	△13,076	△11,256
流動資産合計	984,345	933,336
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	124,900	204,220
坑井（純額）	51,257	41,759
機械装置及び運搬具（純額）	130,796	128,088
土地	19,673	19,601
建設仮勘定	1,407,490	1,305,966
その他（純額）	18,495	16,633
有形固定資産合計	1,752,614	1,716,270
無形固定資産		
のれん	67,558	64,178
その他	473,912	433,281
無形固定資産合計	541,471	497,459
投資その他の資産		
投資有価証券	213,730	192,440
生産物回収勘定	727,771	714,722
その他	291,535	119,110
貸倒引当金	△7,814	△7,043
生産物回収勘定引当金	△131,765	△133,374
探鉱投資引当金	△2,046	△2,337
投資その他の資産合計	1,091,410	883,518
固定資産合計	3,385,496	3,097,248
資産合計	4,369,841	4,030,584

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,351	41,830
短期借入金	68,468	65,471
未払法人税等	42,845	32,459
探鉱事業引当金	4,781	3,973
役員賞与引当金	55	27
資産除去債務	2,233	846
その他	153,390	117,406
流動負債合計	319,127	262,013
固定負債		
長期借入金	673,098	604,990
事業損失引当金	4,737	3,986
特別修繕引当金	293	313
退職給付に係る負債	7,461	7,400
資産除去債務	100,829	100,552
その他	85,490	50,372
固定負債合計	871,911	767,616
負債合計	1,191,038	1,029,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	290,809	290,809
資本剰余金	676,273	676,273
利益剰余金	1,575,136	1,577,720
自己株式	△5,248	△5,248
株主資本合計	2,536,971	2,539,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,958	3,856
繰延ヘッジ損益	△6,660	△3,346
為替換算調整勘定	397,622	213,667
その他の包括利益累計額合計	395,921	214,178
非支配株主持分	245,910	247,221
純資産合計	3,178,803	3,000,954
負債純資産合計	4,369,841	4,030,584

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	567,013	389,657
売上原価	273,549	210,127
売上総利益	293,463	179,530
探鉱費	4,093	2,462
販売費及び一般管理費	42,582	38,994
営業利益	246,787	138,072
営業外収益		
受取利息	4,294	5,138
受取配当金	2,508	1,344
有価証券売却益	11,488	—
為替差益	9,166	—
その他	12,409	9,965
営業外収益合計	39,868	16,448
営業外費用		
支払利息	2,188	2,403
持分法による投資損失	937	437
生産物回収勘定引当金繰入額	18,022	1,032
探鉱事業引当金繰入額	1,650	—
為替差損	—	17,168
その他	5,010	1,297
営業外費用合計	27,808	22,340
経常利益	258,847	132,180
税金等調整前四半期純利益	258,847	132,180
法人税、住民税及び事業税	212,782	118,223
法人税等調整額	6,745	△10,755
法人税等合計	219,527	107,467
四半期純利益	39,320	24,713
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,165	8,986
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,485	15,727

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	39,320	24,713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,334	△1,079
為替換算調整勘定	△41,045	△190,213
持分法適用会社に対する持分相当額	9,455	△2,955
その他の包括利益合計	△57,923	△194,249
四半期包括利益	△18,603	△169,535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,482	△166,015
非支配株主に係る四半期包括利益	△21,085	△3,519

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	258,847	132,180
減価償却費	35,109	43,289
のれん償却額	3,380	3,380
生産物回収勘定引当金の増減額(△は減少)	19,003	1,608
探鉱事業引当金の増減額(△は減少)	928	△488
その他の引当金の増減額(△は減少)	50	△2,214
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	54	△31
受取利息及び受取配当金	△6,803	△6,486
支払利息	1,399	2,306
為替差損益(△は益)	1,267	16,915
持分法による投資損益(△は益)	937	437
有価証券売却損益(△は益)	△11,488	—
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	26,842	37,249
生産物回収勘定(非資本支出)の増加額	△29,387	△1,568
売上債権の増減額(△は増加)	△28,618	△1,138
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,279	2,536
仕入債務の増減額(△は減少)	2,283	△4,973
その他	35,570	△1,933
小計	310,654	221,070
利息及び配当金の受取額	15,056	7,619
利息の支払額	△1,313	△1,552
法人税等の支払額	△226,706	△110,485
営業活動によるキャッシュ・フロー	97,691	116,652
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△226,842	△252,430
定期預金の払戻による収入	484,829	418,759
長期預金の預入による支出	△63,818	—
有形固定資産の取得による支出	△243,944	△143,198
有形固定資産の売却による収入	194	3,326
無形固定資産の取得による支出	△11,550	△11,997
有価証券の売却及び償還による収入	103,025	—
投資有価証券の取得による支出	△6,491	△165
投資有価証券の売却及び償還による収入	27,700	—
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△40,265	△24,321
短期貸付金の増減額(△は増加)	272	△3,176
長期貸付けによる支出	△192,535	△65,592
長期貸付金の回収による収入	299	125
権益取得による支出	△133,627	—
その他	△10,349	2,460
投資活動によるキャッシュ・フロー	△313,102	△76,212

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	179	△21
長期借入れによる収入	—	50
長期借入金の返済による支出	△13,083	△18,143
非支配株主からの払込みによる収入	77,000	8,769
配当金の支払額	△13,144	△13,142
非支配株主への配当金の支払額	△3,939	△3,939
その他	△20	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	46,992	△26,444
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,588	△5,305
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△170,007	8,689
現金及び現金同等物の期首残高	260,978	53,813
現金及び現金同等物の四半期末残高	90,970	62,502

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシ ア(欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	51,110	167,608	41,103	300,425	6,765	567,013	—	567,013
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	51,110	167,608	41,103	300,425	6,765	567,013	—	567,013
セグメント利益又は損失(△)	1,964	61,597	12,260	179,911	△3,788	251,945	△5,157	246,787

(注) 1 セグメント利益の調整額△5,157百万円は、セグメント間取引消去101百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△5,259百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシ ア(欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	42,603	102,775	30,680	209,037	4,561	389,657	—	389,657
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	42,603	102,775	30,680	209,037	4,561	389,657	—	389,657
セグメント利益又は損失(△)	6,020	17,574	5,474	118,740	△5,360	142,448	△4,375	138,072

(注) 1 セグメント利益の調整額△4,375百万円は、セグメント間取引消去6百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,381百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

(耐用年数の変更)

「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」の「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、当社の構築物(パイプライン)の耐用年数につきましては、法人税法に規定する方法と同一の基準によっておりましたが、富山ラインの稼働を契機に、「中長期ビジョン」に掲げたガスサプライチェーン強化策の進捗状況や使用実績等を勘案し、経済的使用可能予測期間の検討を行った結果、従来の耐用年数よりも長期に使用可能であることが判明しましたので、第1四半期連結会計期間よりこれらの耐用年数を見直しております。

この変更に伴い、従来の耐用年数によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の「日本」のセグメント利益は3,224百万円増加しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 参考情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

セグメントごとの生産実績は次のとおりであります。

セグメントの 名称	区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
日本	原油	0.5百万バレル (日量2.8千バレル)	0.6百万バレル (日量3.3千バレル)
	天然ガス	18.5十億CF (日量101.3百万CF)	22.5十億CF (日量122.9百万CF)
	小計	4.0百万BOE (日量21.9千BOE)	4.8百万BOE (日量26.4千BOE)
	ヨード	249.1t	278.2t
	発電	108.6百万kWh	112.4百万kWh
アジア・オセアニア	原油	8.9百万バレル (日量48.5千バレル)	7.1百万バレル (日量39.0千バレル)
	天然ガス	130.4十億CF (日量712.5百万CF)	127.5十億CF (日量696.8百万CF)
	小計	33.4百万BOE (日量182.4千BOE)	31.2百万BOE (日量170.3千BOE)
ユーラシア (欧州・NIS諸国)	原油	5.9百万バレル (日量32.1千バレル)	5.2百万バレル (日量28.6千バレル)
中東・アフリカ	原油	44.6百万バレル (日量243.5千バレル)	49.4百万バレル (日量270.2千バレル)
米州	原油	1.4百万バレル (日量7.5千バレル)	1.4百万バレル (日量7.5千バレル)
	天然ガス	16.6十億CF (日量90.9百万CF)	21.1十億CF (日量115.4百万CF)
	小計	4.3百万BOE (日量23.6千BOE)	5.2百万BOE (日量28.3千BOE)
合計	原油	61.2百万バレル (日量334.4千バレル)	63.8百万バレル (日量348.6千バレル)
	天然ガス	165.6十億CF (日量904.7百万CF)	171.1十億CF (日量935.2百万CF)
	小計	92.1百万BOE (日量503.5千BOE)	95.8百万BOE (日量523.8千BOE)
	ヨード	249.1t	278.2t
	発電	108.6百万kWh	112.4百万kWh

(注) 1 海外で生産されたLPGは原油に含みます。

2 原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。

3 上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。また、上記の生産量は連結子会社及び持分法適用関連会社の決算日にかかわらず、4月1日から9月30日の実績となっております。

4 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、前第2四半期連結累計期間は原油72.3百万バレル(日量395.0千バレル)、天然ガス214.7十億CF(日量1,173.0百万CF)、合計112.5百万BOE(日量614.7千BOE)、当第2四半期連結累計期間は原油76.0百万バレル(日量415.1千バレル)、天然ガス213.8十億CF(日量1,168.5百万CF)、合計116.1百万BOE(日量634.3千BOE)となります。

5 BOE(Barrels of Oil Equivalent)原油換算量

6 ヨードは、他社への委託精製によるものであります。

7 数量は小数点第2位を四捨五入しております。

②受注実績

当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。

③販売実績

セグメントごとの販売実績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	
		販売量	売上高	販売量	売上高
日本	原油	290千バレル	2,171	415千バレル	2,112
	天然ガス (LPGを除く)	28,725百万CF	42,121	29,523百万CF	34,716
	LPG	3千バレル	17	2千バレル	10
	その他		6,800		5,764
	小計		51,110		42,603
アジア・オセアニア	原油	6,837千バレル	48,773	6,548千バレル	30,488
	天然ガス (LPGを除く)	114,556百万CF	113,299	118,646百万CF	68,673
	LPG	1,165千バレル	5,535	1,094千バレル	3,614
	小計		167,608		102,775
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	原油	6,028千バレル	41,103	6,260千バレル	30,680
中東・アフリカ	原油	43,963千バレル	300,425	45,734千バレル	209,037
米州	原油	687千バレル	4,419	1,012千バレル	3,552
	天然ガス (LPGを除く)	17,353百万CF	2,346	17,668百万CF	1,008
	小計		6,765		4,561
合計	原油	57,805千バレル	396,892	59,970千バレル	275,870
	天然ガス (LPGを除く)	160,634百万CF	157,767	165,837百万CF	104,398
	LPG	1,168千バレル	5,553	1,096千バレル	3,624
	その他		6,800		5,764
	合計		567,013		389,657

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 決算日が12月31日の連結子会社につきまして、連結決算日で決算を行っている会社を除き、1月から6月の業績を第2四半期として連結しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。

3 販売量は、単位未満を四捨五入しております。